

# Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

## マーケットサマリー

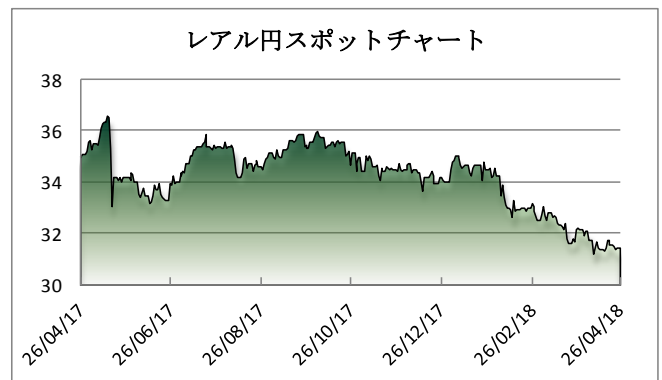
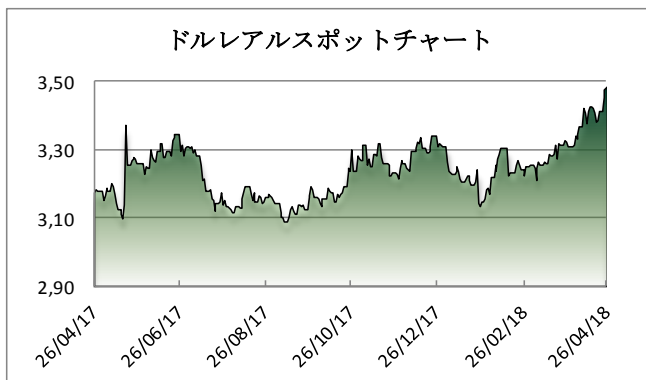
昨日のドルレアルスポット相場は、再び節目の3.50台を突破する局面も見られたが、さらなるレアル売りには材料が不足していたこともあり、引けにかけてはレアルの買戻しが優勢に、3.47台半ばで取引を終えた。マーケットはレアルの重石となり得る材料として、Lula政権時代に財務相を務めたAntonio Palocci氏が、ブラジル検察省との司法取引に応じる可能性がある、との報道に注目している。仮に同氏が大規模な汚職事件に関与した新たな会社を暴露したり、Lula元大統領やRousseff元大統領の不正資金受領について新たな事実を語った場合、レアル相場がボラティリティを伴ってさらに下落するシナリオも想定される。一方、Goldfajn中銀総裁は昨日、Valor紙とのインタビューにおいて、「当局は、為替レートが経済ファンダメンタルズに基づいて決定されることを確実にするため、足許の動きを注意深くモニタリングしている」と発言。また、①中銀は必要であれば、通貨の動きを円滑にするために行動する、②中銀は為替市場の流動性を確保する、③足許の外貨準備と通貨スワップ残高は良好な水準を維持している、との見解を示した。

足許のレアル相場について、その要因は概ね対外的なもの(米長期金利の上昇)との見方が支配的であるが、ブラジル中銀が金融緩和サイクルを停止する兆しがないことも要因の1つとして指摘されている。インフレ率が政府目標を下回っている限り、次回5月会合も含め、中銀に金融緩和を中止するインセンティブは働きにくい。

## マーケットデータ

Indicator		Unit	4月25日	4月26日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,4852	3,4756	-0,28%	4,87%	3,1210	3,5153
	対円	JPY	31,40	31,45	0,16%	-1,11%	35,13	31,12
	対ユーロ	BRL	4,2386	4,2063	-0,76%	2,00%	3,8531	4,2803
円	対ドル	JPY	109,43	109,30	-0,12%	3,69%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	133,07	132,30	-0,58%	0,86%	128,95	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	85.044	86.383	1,57%	1,52%	88.318	76.403
CDS Brazil 5yrs		bps	172,10	171,41	-0,40%	2,31%	188,62	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	9,91	9,84	-0,71%	3,92%	10,07	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)		%	6,25	6,25	-0,08%	0,48%	6,94	6,21
3 Months US Dollar Libor		%	2,3656	2,3656	0,00%	3,08%	2,3656	1,6959
CRB Index (国際商品指数)		Index	200,69	201,22	0,26%	2,78%	203,92	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。